公益社団法人出雲市シルバー人材センター

理事会だより

第 73 号　発行:令和 5 年 5 月 31 日

令和 5 年度第 2 回（R5.5.10）理事会の会議状況や決定したことについてお知らせします。第 2 回の理事会は、理事 11 名中 11 名が、監事 2 名中 2 名が、事務局から 1 名の職員が出席しました。

第 2 回の議事は、報告 3 件（業務報告/定例監査結果報告書/正味財産増減計算書における収支状況及び資金繰表について）、議案 3 件（正会員の承認/公益社団法人出雲市シルバー人材センター令和 4 年度事業報告及び収支決算・監査報告について/第 13 回(通算第 48 回）定時総会の開催及び書面議決について)、協議 1 件(総会の役割分担について)でした。

業務報告について

4 月 18 日から 5 月 9 日までのセンターの業務及び 4 月の勤務実績(理事長、常務理事ともに 19 日)の報告をしました。

定例監査結果報告書について

4 月 21 日(金)に実施された会計監査及び業務監査について、会計監査では特に指摘事項はなく、業務監査では、就業率がコロナ感染が発生した 2 年度落ち込んだが、その後 3 年度、4 年度と回復したとの報告がありました。

資金繰表について

4 月分については、市からの補助金の交付があった関係もあり、月末残高が普通預金が 4,493 万 8 千円、将来的に財政赤字が生じた際の補填のための財政運営資金積立の定期預金 2,413 万円を合わせて 6,906 万 8 千円となっていることを報告しました。

また、正味財産残高については、少ない時で 5,700 万円余りから多い時で約 7,100 万円の間で推移する見込みであると報告しました。

正会員の承認について

4 月 15 日から 5 月 8 日までに受け付けた 12 名(男性 3 名、女性 9 名)の入会が承認されました。

(公社)出雲市シルバー人材センター令和 4 年度事業報告及び収支決算・監査報告について

令和 4 年度事業報告では、コロナ禍においても、シルバー人材センターの受託事業は対前年度 0.02%増、派遣事業は大きく伸びて対前年度 13.5%増となりました。

また、収支状況で、平成 27 年度から平成 30 年度まで 4 年間赤字決算が続きましたが、令和元年度以降黒字決算となり、財政的にも安定してきました。令和 4 年度には、令和 3 年度の公益目的事業の剰余金について、特定資産（財政運営資金積立金）として 511 万円積立て、今後財政赤字が生じた際の補填金として備えました。その他事業報告としては、会員の皆さんに配布した定時総会議案書のとおりです。また、収支決算報告については、貸借対照表に示すとおり、資産合計 8,314 万 1 千円、負債合計で 2,528 万 9 千円、正味財産合計が 5,785 万 2 千円となったことを報告しました。正味財産増減計算書では、経常収益が前年度と比較し 86 万 3 千円、経常費用も 595 万 9 千円増加し、当期一般正味財産が 512 万 7 千円増加したことを報告しました。その他財務諸表に対する注記、財産目録等も提出しております。監査報告については、事業報告は法令、定款に従った適正なものであること、理事の職務の執行も適正になされていること、今期の業績は、コロナ禍においても増加したことなど報告いただきました。

以上事業報告、収支決算、監査報告について理事会の承認をいただきました。

第 13 回(通算第 48 回）定時総会の開催及び書面議決について

本年度の定時総会は新型コロナが 5/8 から季節性インフルエンザと同じ第 5 類に移行したこともあり、ビッグハート出雲白のホールにて通常の形で実施することに決定しました。

なお、総会に出席できない方は議決権行使書面を提出いただくことにしました。これにより正会員の皆さんに総会議案書と議決権行使書面を送付することとしました。

※理事会を傍聴できます

理事会の傍聴を希望される会員は、事務局へご連絡ください。なお、定員は 8 名です。

今後の理事会の予定：6 月 20 日(火)
(13:30-16:00 センター会議室)